

秋の叙勲・褒章

政府は、11月3日付けで秋の叙勲受章者を、2日付けで秋の褒章受章者を、10月8日付けで第39回危険業務従事者叙勲受章者を発表しました。市内では次の皆さんが受章されました。

瑞宝双光章【教育功労】



金子 祐子 さん
(上江釣子・71歳)

昭和62年からやさか幼稚園に勤務し、平成6年からは園長として鬼剣舞を取り入れるなど地域に根ざした教育活動に尽力。信頼関係構築を重視し、先生も子どもも楽しめる環境作りに取り組みました。受章について「園長としていられる環境は皆さんが作ってくれた。子どもたちや先生、地域の人に感謝を伝えたい」と語りました。

旭日单光章【中小企業振興功労】



藤原 澄夫 さん
(黒沢尻・73歳)

昭和45年から金型を使用した精密部品の加工に携わり、部品の高精度化などへの対応に努めました。平成10年には㈱ベストを設立し、代表取締役就任。多くの研究開発・商品化に尽力し、平成19年には経済産業省の元気なモノ作り中小企業300社に選定されました。「お客様や従業員、地域の人に支えられた」と振り返りました。

危険業務従事者叙勲

藍綬褒章【調停委員功績】



佐藤 利子 さん
(二子町・72歳)

平成16年4月1日から令和4年3月31日の18年間にわたり、調停委員を務めました。当事者に寄り添い、悩みを聞くことに徹して任務に注力。話し合いで解決策を見出したときの、当事者の柔らかな表情にやりがいを感じたと話します。「周囲の力添えや出会った多くの調停委員に支えられての受章です」と喜んでいました。

瑞宝双光章【警察功労】



大西 幸一郎 さん
(村崎野・73歳)

昭和43年に岩手県警察官となり、平成22年に警察本部交通部運転免許課次長で退職するまでの42年間、交通部門を中心に活躍。うち通算20年は交通機動隊に所属し、白バイで各地を巡回しました。危険と隣り合わせの任務ながらも、体力、気力が充実して全うできたと振り返り、「一緒に勤務した同僚、先輩のおかげ」と感謝を述べました。